社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和07年03月13日

計画の名称	和歌山市水道総合地震対策事業計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和０６年度　～　令和０６年度　(1年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	和歌山市													
計画の目標	水道施設、重要施設に接続する配水管の耐震化及びリダンダンシーの確保により、災害時における給水停止のリスクを低減させる。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	3,754	A	3,754	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7		R11
1	加納浄水場の基幹水道構造物を整備し、耐震化率の向上を目指す。　0%→25%（令和9年度）			
	基幹水道構造物の耐震化率 本事業で耐震化を行った施設数 ／ 事業対象施設数	0%	25%	25%
2	紀の川送水管複線化を実施し、複線化整備率の向上を目指す。　0%→100%（令和9年度）			
	複線化整備率 本事業で耐震化を行った送水管の延長 ／ 事業対象送水管延長	0%	100%	100%
3	重要施設に接続する配水管の耐震化率の向上を目指す。　38%→47%（令和11年度）			
	重要施設に接続する配水管の耐震化率 本事業で耐震化を行った配水管の延長 ／ 事業対象配水管延長	38%	%	47%

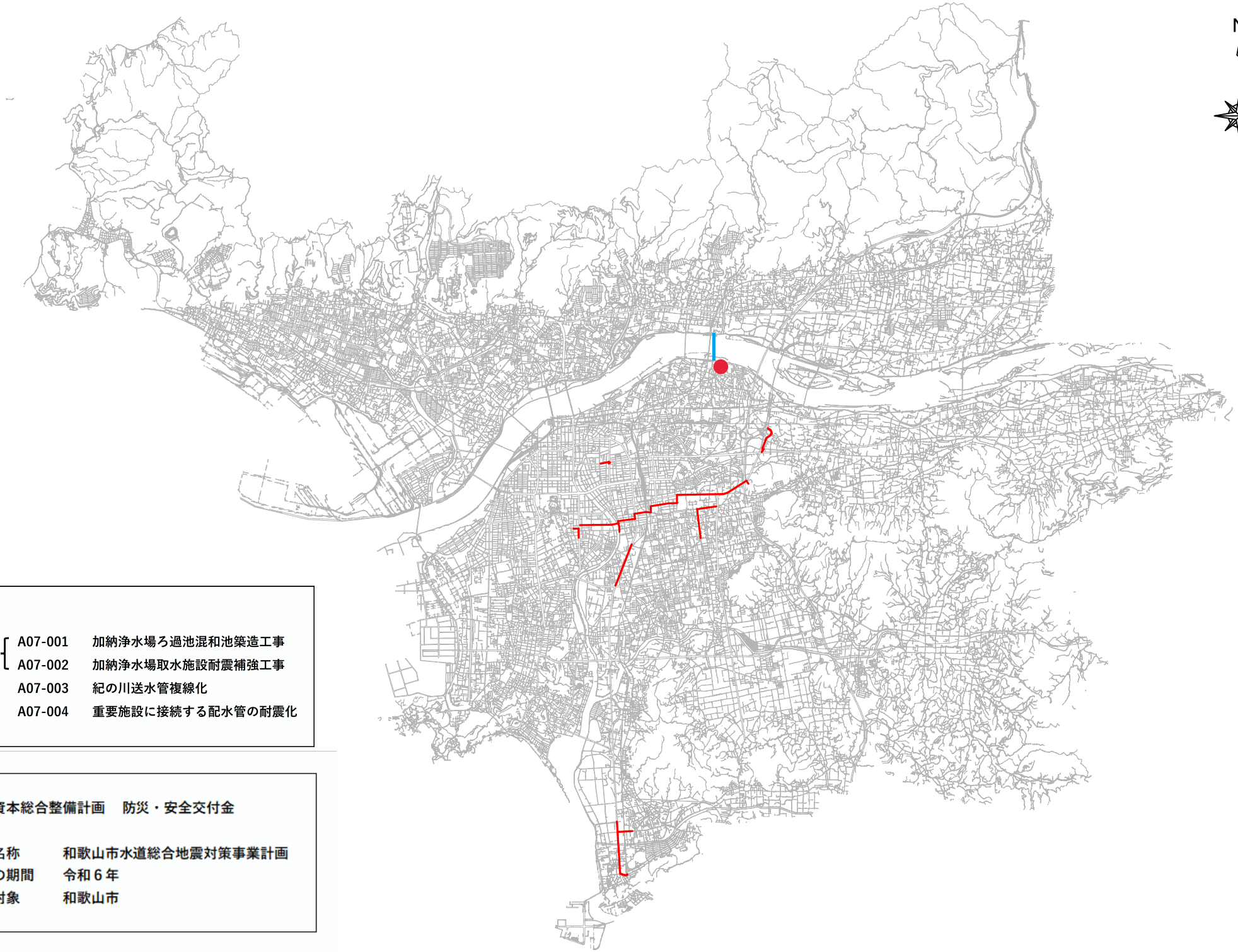
備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
和歌山市国土強靭化地域計画に基づき実施される要素事業：A全て												

案件番号：　0000642775

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R06	R07	R08	R09	R10	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	和歌山市	直接	和歌山市	－	－	基幹水道構造物の耐震化事業（改築・更新）	加納浄水場ろ過池混和池築造	和歌山市	■					340		－
		上下水道耐震化計画																	
	A07-002	水道	一般	和歌山市	直接	和歌山市	－	－	基幹水道構造物の耐震化事業（補強）	加納浄水場取水施設耐震補強	和歌山市	■					144		－
		上下水道耐震化計画																	
	A07-003	水道	一般	和歌山市	直接	和歌山市	－	－	導水管・送水管複線化事業	紀の川送水管複線化	和歌山市	■					2,621		－
		上下水道耐震化計画																	
	A07-004	水道	一般	和歌山市	直接	和歌山市	－	－	重要施設配水管	重要施設に接続する配水管の耐震化	和歌山市	■					649		－
		上下水道耐震化計画																	
											小計						3,754		
											合計						3,754		

案件番号： 0000642775



凡　例

- A07-001　加納浄水場ろ過池混和池築造工事
- A07-002　加納浄水場取水施設耐震補強工事
- A07-003　紀の川送水管複線化
- A07-004　重要施設に接続する配水管の耐震化

社会資本総合整備計画　防災・安全交付金

計画名称	和歌山市水道総合地震対策事業計画
計画の期間	令和６年
交付対象	和歌山市

事前評価チェックシート

計画の名称： 和歌山市水道総合地震対策事業計画（防災・安全）（重点計画）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性　令和６年３月策定の和歌山市水道ビジョン２０２４と整合性が確保されている	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）　施設や管路の耐震化や、リダンダンシーの確保により、災害時における給水停止のリスクを低減させる。	○
II.　計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性　目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性　指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性　目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果の見込みの妥当性　事業を実施することで、災害時における給水停止のリスクを低減できる。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑤当該事業を実施する水道事業者等においてPPP/PFI手法の導入が検討されているか。（事業費 10 億円以上のもの）　性能発注と設計・施工分離発注の比較検討をおこなった結果、設計・施工分離発注とした。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等）　①用地取得の見通し　既存休止施設の取壊し及び空スペースを有効活用することで、新たに用地を取得する必要がない計画としている。　②関連法手続きの見通し　河川区域内の施工については国土交通省に許可申請を提出済みである。	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（当該事業に係る要望等）　令和５年度和歌山市市政世論調査にて「地震や風水害などの災害に対する安全性」について重要度が高いとの回答が79.7%あり、また浄水場周辺住民に対し説明会を開催し、当事業の重要性を理解して頂いている。	○

案件番号：0000642775